



平成 27 年 4 月 10 日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者 代表取締役社長 寺家 正昭
(コード番号 2209 東証第二部)
問合せ先 常務取締役部門統括 大西 安樹
(TEL 059-234-2146)

中期3カ年計画「One imuraya 2017」の策定について

井村屋グループ株式会社では、2015年度から2017年度までの3カ年を計画期間とする中期計画を策定しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 策定の前提

2012年度から2014年度までの3カ年において「Strategic Innovation Plan 2014」に基づき、計画を推し進めてまいりました。グループ各事業会社が「自立と協働」の旗印のもと、それぞれが特色を発揮しながらシナジー効果を生み出し、成長性を図ることができました。

経営環境は、少子高齢化による国内市場の成熟化と市場の縮小、製品品質の安全・安心要求の高まり、急速なグローバル化への対応など、大きなスケールで変化しています。

新しい中期3カ年計画「One imuraya 2017」の最終年度である2017年には創業120年、会社設立70周年を迎え、そしてさらにその3年後の2020年は持株会社制へ移行から10周年を迎えます。グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮し、グループ企業価値を高める重要な期間と捉え、つながりと革新による着実な成長を実現する計画といたしました。

2. 計画期間

3カ年（2015年度～2017年度）

3. 中期計画の概要

1) 基本方針

継続的なイノベーションで、特色経営をさらに磨き、着実な成長によって、社会に貢献するグループ企業となる。

2) 変革課題

① グループの価値向上と成長性を確保します。

・強みの発揮による新事業の育成と既存事業の深耕を図ります。

- ・海外事業展開をさらに加速化させ、グループ経営への収益面での貢献を目指すとともに、日本から ASEAN 諸国などへの輸出を強化します。
 - ・業務用、ネット販売など新しいチャンネルを拡充いたします。
- ② ビジネスプロセスの変革を実施します。
- ・品質保証体制の一層の強化を図ります。
 - ・計画的な設備投資によるコストダウンを実施します。
 - ・SCMをさらに進化させ“つながり”強化し、顧客満足の上とコストダウンを図ります。
 - ・業務の集約、効率を高め生産性を向上させます。
- ③ 経営基盤をより一層強化し、持続可能な強い企業体質を構築します。
- ・事業会社の成長に向けたホールディング機能を高め、グループ全体での企業価値向上を図ります。
 - ・コーポレートガバナンスを強化し、経営の健全性と透明性を確保します。
 - ・適切な資本政策による財務の安定化を図ります。
 - ・多様な人事戦略により企業活性化、人材の人財化を推進します。
 - ・リスクマネジメントを強化し、変化対応力を向上させます。
 - ・経営品質向上活動を継続し、PDCAをスパイラルアップさせて、経営の質を向上させます。

4. 数値計画

(単位:百万円)

| | 2017 年度 |
|----------|---------|
| 売上高 | 47,000 |
| 損益(経常利益) | 2,000 |
| 経常利益率 | 4.3% |
| ROE | 10% |
| 自己資本比率 | 50% |

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営戦略部 岩本、尾崎

tel 059-234-2146